

2007年度 立教SFR国際会議助成成果報告書 (A, B, C)

1. 会議概要

会 議 名	和文	環太平洋地域における人の移動と文化変容		
	欧文	Symposium on the Human Migration and Acculturation in the Pacific Rim		
主 催	立教大学 人の移動と文化変容研究センター			
共 催				
後 援	立教大学 アミューズメントリサーチセンター (RARC)			
開催責任者	所属	立教大学観光学部	連絡先:	
	氏名	豊田由貴夫	Tel 048(471)7453	Fax 048(471)4538
運営事務局	事務担当者	連絡先:		
	氏名	井田かおる	Tel 03(3985)4032	Fax ()
開催期間	2007年7月13日 から 2007年7月16日まで			
開催場所	立教大学 新座キャンパス アカデミックホール			
参加者数※1	学内	18名		
	学外 国内から招聘	2名		
	海外から招聘	6名	4カ国	合計 26名 5カ国
公開講演会等 参加者数※2	①	年 月 日	名	カ国
	②	年 月 日	名	カ国
開催日程		午前	午後	夜
	第1日 7月 13日	Excursion	Opening Address Preliminary Session	Afternoon Tea party
	第2日 7月 14日	Session 1	Session 2	
	第3日 7月 16日	Session 3	Session 4	
開催経費総額	予算額 3,492,155 円 (299,2155 円)		執行額 3,113,914 円 (2,782,748 円)	

※ 1 参加者とは、会議において講演、パネラー、コメンテーター等の活動を伴う者をいう。

※ 2 一般に公開された講演会等に聴講のために参加した者。講演者、パネラー等は除く。所要経費が60万円以上の会議で参加者がのべ100人を超える場合は、参加者名簿を添付すること。

2. 開催趣旨概要

オープンリサーチ「人の移動と文化変容研究センター」としての活動の完成年度となり、センターを構成する3つの個別プロジェクトにおけるこれまでの研究成果をとりまとめ、「人の移動と文化変容」の総合的な理解に向けた一般理論の構築を目指すシンポジウムを開催した。人の移動と文化変容センターを中心とした、立教大学における社会科学、人文諸科学を基盤とする広い意味での文化研究の研究成果を、国際シンポジウムとして世に問い、オープンリサーチ活動を通じて形成された環太平洋地域の研究者を招聘し、「人の移動と文化変容」に関する国際的な議論の場とした。

3. 国際会議の成果概要・今後の展望等

シンポジウムでは、以下の5つのセッションに分けて、講演者とコメンテーターにより議論を行った。

Preliminary Session: Towards an Era of Global Migration

Session 1: Development of International Linkages

Session 2: Discourses upon Ethnicity

Session 3: Case Studies for Transnationalisation

Session 4: Old Culture in New Setting

各セッションでの議論では、人の移動と文化変容に関わる一般理論構築の有効性よりも個別の事例研究の必要性が強調され、今後の研究が必要とされるいくつかの課題が示された。議論で示された課題は以下ようになる。

- ・ 移住先のコミュニティと母集団の経済的連携と親族ネットワークとの関係
- ・ アフリカ系住民によるインフォーマルな貿易活動の実態
- ・ 人の移動に関する国内移動と国際移動の接続パターン
- ・ 移民によるサイバー・コミュニティの形成
- ・ 人の移動に関する社会的・政治的障壁
- ・ 移民のコミュニティにおける教育
- ・ 東南アジアにおけるGMS(Greater Mekong Sub-region)の概念の有効性
- ・ 観光化による移住の促進

国際シンポジウムの直接的な成果としては、以下の出版物を発行した。

1. 英文の成果報告書

International Symposium on the Human Migration and Acculturation in the Pacific Rim,
Centre for Human Migration and Acculturation Studies, Rikkyo University, 2008, pp.188.

2. 日本語の単行本

人の移動と文化変容研究センター編『国際的な人の移動と文化変容』立教大学 人の移動と文化変容研究センター,2008, pp.275.

(同書は装丁を変更し、ハーベスト社から以下のように市販されている)

人の移動と文化変容研究センター編『国際的な人の移動と文化変容』ハーベスト社,2008, pp.275.

「人の移動と文化変容研究センター」としての活動は2008年3月をもって終了したが、これまでの構成員は、学内の別の研究機関や、大学と独立した組織やネットワークで研究活動を継承していくことを予定している。立教大学内の別の研究機関としては、アジア地域研究所、観光研究所、アメリカ研究所、ラテンアメリカ研究所などを予定している。またこれまでの研究活動で得られた海外の研究者・研究機関とのネットワークは、元構成メンバーの所属学部や、前述した学内の研究機関で継承することを予定している。

4. 会議の構成

(1) 学内参加者

氏名	所属・職名	会議における活動	内訳
栗田和明	文学部・教授	講演	文学部 1名
阿部珠理	社会学部・教授	講演	経済学部 1名
水上徹男	社会学部・助教授	セッション座長	理学部 1名
櫻井 厚	社会学部・教授	コメンテーター	社会学部 3名
稲垣 勉	観光学部・教授	セッション座長	法学部 1名
豊田由貴夫	観光学部・教授	セッション座長	観光学部 1名
大橋健一	観光学部・教授	講演	コミュニティ福祉学部 1名
白坂 蕃	観光学部・教授	講演	経営学部 1名
舩谷 鋭	観光学部・助教授	講演	現代心理学部 1名
毛谷村英治	観光学部・教授	コメンテーター	その他 (3名)
安島博幸	観光学部・教授	コメンテーター	
村上和夫	観光学部・教授	コメンテーター	
中西裕二	観光学部・教授	コメンテーター	
杜 国慶	観光学部・助教授	講演	
千住 一	観光学部・助教	コメンテーター	
市川 哲	本センター・特別研究員	講演	
岩田晋典	本センター・特別研究員	講演	
須永和博	本センター・特別研究員	講演	
			計 18名
変更内容 (氏名、不参加/追加の別)			
宮島 喬、佐久間孝正、田房由起子、江上 渉、間々田孝夫、高木恒一、松村公明 (以上不参加)			

(2) 学外参加者 (国内、国外)

氏名	国名・所属・職名	会議における活動	内訳
TOKITA, Alison	Australia, Monash University, Professor	基調講演	国名 1名
RINGER, Simon	Australia, The University of Sydney, Professor	基調講演	日本 2名
JANG, Wonho	Korea, The University of Seoul, Professor	基調講演	オーストラリア 2名
MOHAMED, Badaruddm	Malaysia, University Sains Malaysia, Associate Professor	講演	韓国 1名
ZHANG, Chaozhi	China, Sun Yat-Sen University	講演	マレーシア 1名
MENG, Rui	China, Southwest Forestry University, Professor	講演	中国 2名
石川真作	京都文教大学・助手	講演	
仁平孝明	筑波大学・教授	講演	
			計 5カ国 8名
変更内容 (氏名、不参加/追加の別)			
長崎国際大学・佐藤大祐氏：体調不良のため不参加			